

日本文化政策学会 第3回年次研究大会

2010年1月9日(土)~10日(日)

東京芸術センター 天空劇場 / 東京藝術大学 千住キャンパス

<スケジュール>

1月9日(土)

- 9:30~ 受付開始(東京藝術大学千住キャンパス)
- 10:00~12:40 研究大会 セッション1
・分科会A、分科会B、若手フォーラム
- 13:30~18:00 公開シンポジウム 一般公開・入場無料
会場:天空劇場(北千住)
- 13:30~15:50 第一部:基調講演&ディスカッション
- 16:00~18:00 第二部:ラウンドテーブル
- 18:00~20:00 懇親会 :要申込・参加費(一般:5,000円、学生:2,500円)
- 20:00~22:00 研究大会 政策夜塾
・若手フォーラム

1月10日(日)

研究大会

会場:東京藝術大学千住キャンパス

- 9:00~ 受付開始
- 10:00~12:00 セッション2
・分科会C、分科会D、若手フォーラム
- 12:15~13:15 理事会(役員のみ)
- 13:15~14:00 総会(会員全員)
- 14:00~16:00 セッション3
・分科会E、分科会F、若手フォーラム

公開シンポジウム、若手フォーラム、ポスターセッションは入場無料です

会場 東京芸術センター 天空劇場(公開シンポジウム・懇親会)

東京藝術大学 千住キャンパス(9、10日研究大会)

JR常磐線、東京メトロ千代田線・日比谷線、

東武伊勢崎線、つくばエクスプレス 北千住駅下車

西口、仲町口 徒歩約10分

東京メトロ 1番出口 徒歩5分

公開シンポジウム

主催 日本文化政策学会

早稲田大学演劇博物館・演劇映像学連携研究拠点

「舞台芸術 創造とその環境 日本/世界」

(公開シンポジウム)

共催 財団法人足立区生涯学習振興公社

協力 プリティッシュカウンスル

研究大会

主催 日本文化政策学会



・公開シンポジウム (参加無料)

「政策のための芸術か 芸術のための政策か～芸術と政策のジレンマ～」

1月9日(土) 13:30～18:00 会場: 天空劇場(北千住)

一般公開・入場無料

第一部: 基調講演&ディスカッション 13:30～15:50

「文化政策のための芸術か 芸術のための文化政策か～芸術と政策のジレンマ～」

アーツカウンシルが発達し、政策と芸術現場の連動が進む英国ですが、昨今は政府の文化政策から芸術団体の経営までデータを駆使したエヴィデンス・ベースのポリティクスが盛んです。その可能性と芸術に与える影響を議論します。

基調講演: ジョセフィーヌ・バーズ (BOP コンサルティング代表)

ディスカッション: ジョセフィーヌ・バーズ (BOP コンサルティング代表)

毛利嘉孝 (東京藝術大学・文化研究)

曾田修司 (跡見女子大学・文化政策)

司会: 熊倉純子 (東京藝術大学・芸術運営)

第二部: ラウンド・テーブル 16:00～18:00

「提言 新しい政府に新しい文化政策を」

新政権の文化政策に対し、文化政策の専門家たちが提言をおこないます。既にさまざまな団体がそれぞれの立場から提言を行っていますが、政府はそれらを選択しなければなりません。ラウンド・テーブルでは、事前の理事の提案をもとに、文化政策の何を選択するのか、どのように優先順位をつけるのか、そのもとなる考え方は何か、などを提言し議論することにより、学会としての責務を果たしたいと考えています。

議長: 小林真理 (東京大学)・松森隆一 (嘉悦大学)

パネリスト: 本学会役員数名

懇親会 18:00～20:00 会場: 東京芸術センター(予定) 要参加費

参加費: 一般5,000円、学生: 2,500円

・研究大会 1月9日(土) 1月10日(日) 会場：東京藝術大学千住キャンパス

1月9日(土) 10:00～12:40 セッション1

・分科会 A 自治体文化政策の目的・主体・手段～分権時代の振興条例や政策のあり方

座長：曾田修司(跡見学園女子大学)

副座長：伊藤裕夫(富山大学)

・「地方自治体における指定管理者制度導入の現状と可能性 - アートNPOが担う公立文化施設の運営から - 」

津田純佳(弘前大学大学院地域社会研究科)

・「フランス文化政策分権化と「協力」の制度化 サンティエヌ市・都市圏共同体の事例と共に 」

長嶋由紀子(早稲田大学演劇博物館・東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻博士課程)

・「芸術創造拠点と地域ガバナンス」 松本茂章(県立高知女子大学文化学部教授)

・「行政構造改革が日本の芸術文化政策に与えた影響に関する研究」中間報告 小林真理ほか

・分科会 B 「政策の中の芸術・文化」

座長：桧森隆一(嘉悦大学)

副座長：野田邦弘(鳥取大学)

・「地域固有の文化資源を活用した道路文化サービスの研究 - 阪神高速道路(株)を事例として - 」

山田清敬(京都橘大学文化政策研究科博士後期課程)

・「舞台芸術政策とレント・シーキング」 三浦留美(明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程)

・「創造産業クラスターの形成過程 新産業創出・育成基盤の側面から」 岡田智博(東京藝術大学博士後期課程)

・若手フォーラム (参加無料)

・「公開ゼミ「自治体文化行政が真に市民協働となるためには? ~対等な関係構築に向けて」 中村美帆ほか

1月9日(土) 20:00～22:00 政策夜塾 (参加無料)

・若手フォーラム

・「共同財」としてのアートを支える経済的しくみ 大澤 寅雄ほか

・「文化ホール指定管理者に、あなた(たち)も、立候補してほしい!」 齋藤 光圀

・「少女には歌劇を、少年には野球を 小林一三の文化政策」 鈴村裕輔ほか

・「日本におけるコンテンツ政策からみた文化政策」 岡田智博ほか

1月10日(日) 10:00～12:00 セッション2

・分科会 C 「国際関係の中の文化政策～映画と博物館を例に」

座長：川村陶子(成蹊大学)

副座長：河島伸子(同志社大学)

・「現代映画政策の国際比較と日本におけるその問題点」 西 周成(合同会社アルトアーツ代表)

・「博物館における「所蔵品の流動性」 英国の実例から」 高久 彩(九州国立博物館)

・「英国映画の定義にみる近年の英国の文化政策 1985年映画法とカルチュラルテスト」

木村めぐみ(名古屋大学大学院国際言語文化研究科後期博士課程)

・分科会 D 「文化振興と格差」

座長：友岡邦之(高崎経済大学)

副座長：藤井慎太郎(早稲田大学)

・「社会的マイノリティへの文化・芸術支援に関する一考察-ブラジル人を始めとしたニューカマーの現状を踏まえて-」

吉田隆之(京都大学公共政策大学院修士課程・愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室)

- ・「アートによる社会的包摂の課題と政策～日英の社会的弱者の芸術表現における実践から～」
川井田祥子（大阪市立大学都市研究プラザ特任講師・大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程）
- ・「芸術表現における《社会的障壁》の諸相 多様な人々が関与する音楽ワークショップ「うたの住む家」を事例に」
長津結一郎（東京藝術大学大学院音楽研究科音楽文化専攻芸術環境創造分野修士課程）

・若手フォーラム（参加無料）

「芸術文化振興施策の役割分担を考えるラウンドテーブル～芸術文化振興施策の《マッピング》を通じて」
内村太一ほか

1月10日（日）14:00～16:00 セッション3

・分科会E「文化政策を歴史的に捉え返して現代の問題を考える」

- 座長：小林真理（東京大学）
副座長：鈴木滉二郎（静岡文化芸術大学）
- ・「高度経済成長期（一九五五～七〇）日本の文化政策」 朴 祥美（早稲田大学高等研究所）
 - ・「日本の文化政策の源流を考える《その2》戦前期における「文化政策」確立の主張に関する考察
1940年の岸田国土の言説を中心として」 武田康孝（東京大学大学院人文社会系研究所博士課程）
 - ・「日比谷公会堂の催事にみる戦前期公会堂の運営状況に関する考察」 新藤浩伸（東京音楽大学）
 - ・「ドイツ・ナチズムにおける芸術文化の振興と弾圧」 穴山朝子（お茶の水女子大学）

・分科会F「文化事業が（地域）社会や政策にもたらした影響」

- 座長：熊倉純子（東京藝術大学）
副座長：吉本光宏（ニッセイ基礎研究所）
- ・「市民参加の場としての文化事業に関する考察：隆盛するアートプロジェクトへの考察を通じて」
小泉元宏（東京藝術大学大学院博士後期課程）
 - ・「市民の創造能力と芸術系大学の役割 「取手アートプロジェクト」の取り組みをふまえて」 本田洋一（大阪府庁）
 - ・「継続的芸術文化事業が地域に創出する時間的、空間的諸側面に関する検討 アートプロジェクト事例を中心に」
山口祥平（首都大学東京）

・若手フォーラム（参加無料）

「ホール・参加者・サポーター・専門家が期待する西新井文化ホール スチューデント・プロデュース・コンサート（SPC）
～市民による事業企画の可能性～」松谷はるな ほか

若手ポスターセッション コアタイム（12:15～13:15）（参加無料）

若手対象に幅広い参加を促し、研究と交流を深めることを目的としポスターセッションを行います。

大会参加 申込方法

以下の内容をご記入のうえ、電子メール、FAX、郵便で1月6日（水）までに、事務局までお申し込みください。

1. ご氏名、2. ふりがな、3. ご所属、連絡先（電子メール、電話、FAX番号等）
4. 会員・非会員の種別、5. 研究大会・分科会への参加の有無、6. 公開シンポジウムへの参加の有無
7. 若手フォーラム・ポスターセッション参加の有無、8. 懇親会参加の有無

参加費：会員 1,000 円、非会員 3,000 円、非会員学部学生 1,000 円 懇親会：一般 5,000 円、学生 2,500 円

（研究大会・分科会参加者は参加費が必要になります。予稿集代を含む。公開シンポジウムのみの方は参加費無料）

大会参加にあわせて入会申し込みをすることもできます。詳しくはおたずねください。

お申込・お問い合わせ先 e-mail: office@jacpr.jp

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学文化政策学部 片山泰輔研究室内 日本文化政策学会事務局

Phone: 053-457-6186 FAX: 053-457-6132（学部事務局）